

日高地区概況

令和7年7月1日現在
世帯数 9,228
人口 20,545
男 10,003
女 10,542

※この概要は日高支所管内の統計による

第225号

発行日 令和7年7月20日
発行 日高学区市民自治会
<https://hitaka.hitachi-community.jp>
代表者 志賀 勝弘
編集責任者 田所 剛
印刷 お ぎ っ

地域の課題解決を話しあう

合同地域懇談会を開催

日高学区市民自治会では毎年6月の時期に学区内の複数支部の自治委員、正副支部長と本部役員合同による地域懇談会を開催しています。

市民自治会の事業で支部内で行われている福祉事業や募金活動の協力などの話が本部からあり、その後参加者の自由討議が志賀会長座長で進行されました。



地域の課題を意見交換

高齢化で役員ができないので町内を退会する、町内の空き家の問題、ゴミ集積所の管理、犬のフン害について問題、通学路の危険防止について、町内会員の減少防止など、支部役員の抱えている問題等を、ほかの支部の対応等を参考に意見の交換もありました。また、地域全体の行事を計画する際に、三世代が参加し交流できる内容を企画し高齢者の世帯主ばかりでなく若い親、孫などにも地域にかかわる機会をつくれば町内会退会抑止になるのでは、との提案もありました。

志賀会長は、今回の地域懇談会での地域の声や意見を市民自治会の今後の活動にも生かす、必要な事柄は行政にも跳ね上げることを話していました。

第40回おんもさ祭り

やきとり1万本

8月3日(日)開催

今年40回目となる日高おんもさ祭りは、8月3日(日)JR小津駅東側「ゆりの木通り」で開催されます。(雨天時は日高交流センター体育館)

メインステージには、いばらき観光大使でラッキーフエスにも出演する「安達勇人(あだちゆうと)」が登場します。日高の伝統芸能小木津浜風流物、阿波踊りの天風連、日高中吹奏楽部、子供神輿、大道芸など多数の出演が予定されています。やきとりを1万本販売します。

災害に備え防災訓練

地域一体で協力体制を

ました。

会場には過去の災害記録

6月21日、日高学区市民自治会の自主防災訓練が日高交流センター体育館で実施されました。これは災害時における学区内の自主防災組織の機能訓練と避難行動の協力体制の確認のために毎年行っているものです。



防災士が災害・減災の説明

自主防災本部の設置後、志賀本部長から各班に訓練指示書が渡されて訓練を開始。避難行動要支援者の安否確認や避難支援訓練などを実施。各支部役員による地域の状況確認及び危険場所などの報告訓練も行われ



AEDの実践訓練

住民参加できれいな町を

日高学区一斉清掃

6月1日は「みんなが町をきれいにする日」恒例の日高地区一斉清掃の日でした。当日は天気も心配されましたが、各支部とも役員を中心に参加者協力のもと作業が進められました。刈り取った草や道路沿いの除草にその様子がわかります。



「参加者が少なかった…」と終了後

内会に加入、未加入にかかわらず「住民すべてに」広報しました。「あなたもは作業に参加しましたか？」

行事予定

(7月21日～9月20日)

日高学区市民自治会

◎再生資源拠点回収

7月27日(日)

◎東連津川清掃活動

7月19日(土)

◎東連津川各流域

◎日高おんもさ祭り

8月3日(日)

◎日高つ子体験村

8月21・22日(木金)

◎日高クリーンアップデー

9月7日(日)

◎ひたか敬老の集い

9月15日(月・祝)

日高交流センター体育館

役員会報告

6月10日の役員会で次のことを協議しました。

*日高学区自主防災訓練

*支部懇談会開催

*おんもさ祭りの開催

*日高小・中あいさつ運動

*福祉の事業関係

避難行動要支援者、安心

安全ネット、名簿の確認

作業他

志賀勝弘さん 日高学区の自治活動に尽力 旭日単光章叙勲を受章



小川市長へ受章の報告

令和7年春の叙勲で志賀勝弘さんが、日高学区の自治活動に長らく尽力され旭日単光章を受章されました。旭日章は功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた方に授与される大変榮譽のある勲章です。

志賀さんは、平成13年から今年で25年目となる日高学区市民自治会会長を務めています。長年にわたり日高学区の発展と安全・安心な地域づくりに尽力されてきました。自治会活動の推進、防災訓練の充実、高齢者見守り事業の強化など、多岐にわたる取り組みを先頭に立って進め、地域住民から厚い信頼を寄せられています。平成25年からは市のコミュニティ推進協議会会長も歴任するなど、市内全域のコミュニティ活動にも積極的にかかわってききました。

また、住民同士のつながりを大切にし、夏のおんもさ祭りや地域清掃活動といった行事の開催にも積極的に関わり、誰もが暮らしやすいまちづくりの実現に大きく寄与されました。

「今回の受章は、地域の皆さんの代理としていただいた。日高学区を、きれいで安心な、ともに助け合い、楽しく生活できる町にしたい」という、地域の皆さん一人一人のご協力があつたからこそ賞を頂いたのだと思う」と志賀さんは話しています。

今回の受章は、長年のご努力と熱意が実を結んだ証であり、地域にとっても誇りです。今後ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

文化協会

絵手紙・日本舞踊体験

6月22日日高交流センターで文化協会の趣味の体験教室が行われました。

●絵手紙

第一、二木曜日に交流センターにて行われている絵手紙教室（講師・糸井由子さん）の体験。

絵手紙の3つの心得「ヘタがいい、ぶつつけ本番、お手本なし」を合言葉に、



素敵な絵手紙と皆さん



扇を使って楽しく踊る皆さん

●日本舞踊

麻華流の麻華咲芳美先生の下、扇の開き方から扱い方、足の運び方まで教わり「さくらさくら」「好きになつた人」を踊りました。参加者には小学生もおり、若者から年配まで幅広い年代

の方々が体験していました。扇は開き方も難しく、持ち方も多様。足の運び方や手の振りも特徴があり、参加者は四苦八苦していた部分もあったようですが、「とても楽しい。めったにない経験ができた」との声。講師の方々は「日本舞踊は敷居が高いと思われるがちですが、動画などもあるので気軽に体験して欲しい」と話されていました。

秋の収穫を期待して サツマイモの苗植え付け

日高学区市民自治会では青少年育成部主催で未就学児童を対象とした「イモ掘り会」を例年通り今秋実施する予定です。この芋掘り会は平成13年



秋の芋掘りに期待を込めて

頃に始まった事業です。昨年度は以前と同じ方法でサツマイモ苗を植え付け、その後、芋づるも順調に成長しましたが、秋に掘ってみると芋付きが、皆無状態でした。原因究明のため、常陸太田市の「常陸太田地域農業改良普及センター」に現物

を持ち込み相談をしました。この施設は農業技術、経営などの指導を行う機関で、地域農業の振興をサポートしています。

サツマイモの不出来は「長年にわたり同場所での耕作してきたための連作障害でしょう」ということです。

対策としては、
・麦を蒔き成長した若葉を土と一緒に漉ぎ込む。要するに緑肥を入れるのが効果的だということです。
・肥料は、若干の有機肥料を入れる。
・芋表面の凸凹は線虫被害で防止剤を入れる。
これら3点を考慮した対策を施し今年は6月1日に約450本の苗を植え付けました。

秋の芋掘り会での子どもたちの歓声が楽しみです。

小さな輪 大きな輪

カラオケ月曜会

毎週月曜日に交流センターから聴こえる歌声。カラオケ月曜会の歌声だ。「現在は5名の会員と少し寂しい感じですが、20名位いたところもあり、賑やかだったんですよ」と代表の佐藤三代子さん。以前はカラオケの指導をする先生がいましたが、現在は自分たちで歌いたい曲を選んで練習をしているとの事。

自分の好きな歌を順番に歌うのではなく、歌いたい曲の歌詞をコピーし、歌有りて練習した後、一人ずつカラオケモードでマイクを持ち、歌う方式。一回の集まりで5～6曲を歌う。取材したときは、清水まり子の「花の舟」を練習していました。

年に2回くらい会員で近くのカラオケBOXへ行き、練習した成果を確かめあっているそう。みなさんゆっくりのペースで楽しんでいる姿が印象的でした。

現在は女性だけで、男性も含め参加者を募集しているそう。しっかり練習してからカラオケで披露すればレパートリーも増えて楽しいカラオケライフになりそうですね。



見学もできま
すので、気軽に
月曜13:00～
16:00（第5月
曜はお休み）に
交流センターを
訪ねてはいかが
でしょうか？
（菊池理可子）

6年ぶりのバス旅行

にこにこクラブ

5月28日、日高学区市民自治会社会福祉委員会の高齢者介護予防事業「にこにこクラブ」では、日立市の福祉バスを利用し茨城空港見学に行ってきました。参加者は、ボランティア



久しぶりみなさん笑顔

協力者を含む24名、コロナ禍前、令和元年度以来のバス旅行実施となりました。参加されたメンバーさんの平均年齢は87歳、みなさん本当にお元気です。平成14年度の発足当時からほとんど休まず参加されている方もいます。

茨城空港では、ちょうど出発便が飛び立つところを見学でき笑顔にあふれました。お土産も楽しみの一つで、家族や友人、サークルの仲間を思い浮かべながら、買い物を楽しむ姿がありました。屋食は茨城町の食材を生かしたお料理を堪能し、帰りの車内では「来年も旅行に出掛けましょう」とみんな

かわいい人形劇「おおきなかぶ」を楽しみました

6月4日のおもちゃライブラリーは、人形劇かくれんぼサークルによる「おおきなかぶ」を親子で鑑賞しました。おもちゃライブラリーは、就園前の親子を対象にふれあいや交流を図ることを目的とした、日高学区市民自治会社会福祉委員会の子育て支援事業です。6組の親子は、おもちゃ遊び、読み聞かせ、クイズ、



おおきなかぶをお届け

手遊びも楽しみました。メインの人形劇では「おおきなかぶ」が子どもたちの前に落ちてきて、会場中笑いに包まれていました。

なで心を一つにし、無事楽しいバス旅行から帰宅しました。

にこにこクラブは介護認定を受けていない65歳以上の方が対象です。いつまでも元気でいられるよう入会される方を随時募集しています。一緒に楽しく過ごしましょう。

日高社会福祉委員会
☎43-1250

宇佐美寿郎さん逝く

日高学区市民自治会 活動にご尽力

日高学区市民自治会前総務部長の宇佐美寿郎さん(72歳)が、5月22日ご逝去されました。寿郎さんは3月に体調を崩し、その後手術し退院しましたが回復されることは叶いませんでした。

宇佐美さんは、地元の企業を退職後、平成16年から市民自治会に携わり総務部門を担当、平成21年からは総務部長としてご尽力され、その勤勉な性格と率先して働く人柄に「寿郎さん、寿郎さん」と誰からも声をかけられ市民自治会には欠かせない大切な人でした。また、日高交流センターの職員としても多くの地域の方からも親しまれていました。宇佐美さんの長年の功績に感謝し、ご逝去を悼み謹んでご冥福をお祈りいたします。

お役立ち情報 車椅子貸し出しています

日高学区市民自治会社会福祉委員会では、新しい車椅子を1台増やしました。今回は、より安定感のある自走式タイプです。既存の介助式車椅子2台は軽量で車への積み込みが楽なのが特徴です。2週間の限度に貸出していますので、買い物、通院、旅行、散歩、お花見など便利にお使いください。

【問合せ先】
日高交流センター内
日高社会福祉委員会
☎43-1250



お役立てください

健康推進講座

「リンパ体操・ストレッチ体操教室」を開催

去る6月5日と19日の2回に分け、日高交流センターにおいて、健康推進部の主催による健康講座(リンパ体操とストレッチ体操)が開催されました。

1回目(5日)は下半身を、2日目(19日)は上半身を重点にした講習会で、両日とも、40〜80歳の男女約30名の受講者がヨガマットを持参して参加されました。講師は、さくらアリーナや交流センター等で20年近く健康体操を指導してきた會澤嘉江江さんで、健康運動

文藝ひたか

日高短歌会

神峰の山の御衣黄桜の萌黄色神々しくも楚々と小枝に

春の山目覚めし後の粧いと若葉に色点す山桜花

挑戦の歴史をたどり定年後思い出さがす小平記念館

吾の知らぬ母を探すに黄ばみたる日記の中の母の日常

友言いき河原の浜に寝転びて「一握の砂」に氣力を得しと

いつの間に若木の桜枝のばし大樹となりしよ花に酔いたり

木の芽月に二松亭ちゃん平の落語聞く交流センターに笑顔溢れる

閉店の知らせを受けてまたひとつ昔馴染の和洋品店消ゆ

玄関に今フリージアの花盛りにおいを嗅げば香りそれぞれ

地の揺れにあの日の情景蘇る非常袋の中身見返す

梅の枝(え)をたぐり寄せては香を嗅げばブルーの空に花模様あり

指導士の資格を持つている彼女は、運動に入る前に、リンパ液の役割や、正しい姿勢について分かり易く説明を行い、参加者の理解を深めながら実技に入りま

した。実技では、体内の老廃物を外に排出させるため自分の体と相談しながら丁寧にマッサージを行いました。

約1時間半の講習が終わるころには参加者の顔もほころび、

・身体の中から温まった。

・リンパの流れを良くして、

いくつになっても美意識を高めるよう生活していきたい。

・先生の話が分かり易く、

・先生の話が分かり易く、

・先生の話が分かり易く、

・先生の話が分かり易く、



正しい姿勢は、こうよ！

元気に「おはよう」

日高小・中あいさつ運動



おはようございます

登校する日高小、中学生と朝の挨拶を交わす「あいさつ運動」を小学校が6月9日、中学校が6月10日にそれぞれの校門にて実施しました。

本運動は平成20年に小学校で第1回目が開催されました。その後、22年から中学校が加わって現在のような形となっています。名称も「さわやかマナーキャン

ペーン」いう名前で実施していました。現在の「あいさつ運動」に変わったのはいつ頃かは定かではありませんが15年以上の歴史ある運動となっている事は確かです。

両日とも、日高学区市民自治会から約20名の本部役員が参加し、児童・生徒代表、PTA役員、先生方とともに「おはよう」の挨拶を交わしました。

ある本に「あいさつと礼節は人生のパスポート」という言葉が書かれています。本当にその通りです。

23年度の茨城県の出生率が1.22人と少子化が一層懸念されます。子どもは地域の宝です。私たち大人も常日頃、子どもたちを見守って行きたいものです。

あの人 この人

日高町
橋本寛男さん
(88歳)



個性を引き出し、伸ばしてあげることが教育

日高学区には、橋本寛男さんを恩師と仰ぐ中高年の方が多いのではないのでしょうか？

お生まれは川尻町、教師になられて現在の日高交流センターの場所にあった旧日高小学校に配属されたのを転機に日高町に移られ、近隣の小学、中学校で教鞭をとられながら約60年もの間、この地に住んでいらっ

しやるそうです。

教師になられたのは、お父さんが教師であった影響もあるそうですが、弟さん、またご自身の息子さんのお1人も教師という、まさに教育者の家系ということが言えそうです。

助川中学校での校長を最後に定年を迎えられました。が、定年後も学校の教育相談員、県立高校の就職支援

そして功労保護司と、広く教育現場に携わってこられました。

奥様を亡くされた現在も、身の回りのことを全て自分で行い、草花栽培などの趣味を楽しみながら悠々と過ごしていらっしゃるようです。

新聞を読むなど常に世間の動きにも関心を持ち、主に教育に関連した意見・提言の投稿が紙面に掲載されることも度々あるそうです。

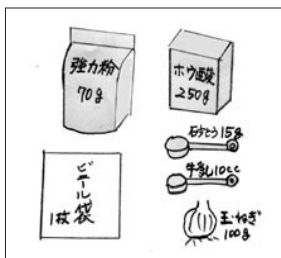
教育に関する信念は「人間は誰でも個性を持っている。その良い所を引き出し、伸ばしてあげること」とのことです、優しく穏やかなお話しぶりからも根っからの教育者であることがうかがえます。

(田所 剛)

効きめ抜群!!

ホウ酸団子で ゴキブリ一掃

日高学区市民自治会健康推進部では、5月22日にホウ酸団子作りを開催しました。これからの季節に家の中で見かけるゴキブリの駆除を目指して15名の方が集まりました。



準備する材料

今年は例年と異なり手で汚さずにビニール袋の中で簡単に出来るやり方を取り入れました。5人一組に分かれ協力し合って材料を計り、それぞれのビニール袋の中に入れて混ぜ合わせます。最後にすりおろした玉葱を少しずつ耳たぶ位の柔らかさになるよう調整し、



五百円玉の大きさ

そのまま家に持ち帰って団子の形を作り、一週間ほど乾かして完成させました。

東連津

今年度より日高学区市民自治会幹事に仲間入りさせていただきました。

私は地元育ちですので幼少の頃からお世話になった方もたくさんおられます。その方々と一緒に活動できることを大変嬉しく思っています。近年、地域とのつながりが少なくなってきた所もあるようですが、やはり地域や人とのつながりは大切な

成長の楽しみ

青少年育成部
志賀 友香

ものであると感じています。これからも周りの方々に教えていただきながら活動していきたいと思っています。

さて、私は自宅でオリブを育てており、日々その成長を楽しみにしています。先日、自治会の皆さまと一緒に交流センターの畑に植えたさつまいもの苗もすくすくと育ち、地域の子ども達と収穫することを楽しみにしています。今後ともよろしく願っています。

効き目は半年ほどです。

初参加の方は「簡単に出来て楽しかった。早く効果をみたい」と語り、毎年参加者している方は「家でゴキブリを見かけなくなり、効果を実感しています。この時期になると、ホウ酸団子作りが待ち遠しい」と話していました。

猛暑の夏を 元気に過ごそう

夏休みチャレンジ

日高ラジオ体操

夏休みの毎日を朝から規則正しく過ごそう。元気な子どもたちを待っています。

7月20日～8月31日

毎朝6時25分

日高交流センター広場

日立市一斉

ラジオ体操の日

毎年夏休み第一日曜日は「日立市一斉ラジオ体操の日」です。大人も子どもも一緒

編集後記

今年も災害に備えて防災訓練が開催された。その中でも人命救助で大切な心肺蘇生法やAED使用の実技の体験をしていれば、もしもの災害発生時に遭遇した際には大いに役に立つと思う。

昨年自治会と子どもたちが植えたサツマイモの苗は十分に育たず収穫できなかった。今年は担当者が農業改良センターまで出かけ、連作障害の出ない方法を学んできた。秋には大きなイモを収穫する子供たちの明るい笑顔を見たい。

(菊地 昇)